

安倍政治を転換し、市民・野党の共闘で新しい政治を

大阪・和泉市での山下副委員長 の訴えから

山下よしき副委員長・参院議員が8月30日、大阪・和泉市議選（9月6日告示、17日投票）の支援で行った訴え（大要）を紹介します。

山下氏は最初に、さおとめ実、原しげき両予定候補の押し上げの訴えを行い、次のようにのべました。

●新しい激動の時代が始まる

みなさん、安倍首相が一昨日、突然の辞任表明を行いました。病気による辞任ですから、これはやむをえません。一日も早い健康のご回復を私たちも願っています。

長期政権が終わり、新しい激動の時代が始まります。日本共産党は、後継の首相に誰がなっても、憲法をないがしろにし、米軍といっしょに海外で戦争する政治、国民には消費税増税を2度も押しつけながら、その一方で大企業と富裕層には減税の大盤振る舞いするような政治を許さないために真正面からたたかいます。国会論戦で新しい政権を追い詰め、解散・総選挙に追い込んで、市民と野党の共闘で自民党政権を倒す、その立場で頑張ります。どうか、そのために和泉市議選で共産党を伸ばしてください。

●コロナ後、どんな政治をつくるか

コロナ危機をどう乗り越えるのか、また、乗り越えたあと、どんな日本と世界をつくるのか、これがいま、政治の最大の課題ではないでしょうか。

山下氏は、日本共産党が7月に行った政府への緊急申し入れと、コロナ対策の前向きな動きを紹介した後、次のようにのべました。



和泉中央駅前でする山下氏(8月30日)

□新自由主義の破たん

次に、コロナ危機を乗り越えたあとに、どんな日本と世界をつくるのか、についてお話します。コロナ危機は私たちの社会のさまざまな問題点を浮かび上がらせました。

今日は、1点だけお話します。世界で、「新自由主義が破たんした」ということが明らかになりました。「新自由主義」とは何か。この考え方には2つの特徴があります。1つは、すべてを市場原理にゆだね、あらゆる規制を取り払って、資本の目先の利潤を最大化してゆく、という考え方です。「新自由主義」といったら、自由を大事にする経済政策のことかとお考えの方もいらっしゃるかもしれませんが、ここでいう自由とは、大資本、大企業、多国籍企業が思いのままに儲けるための「自由」なのです。この「自由」のために邪魔になる社会的規制は全部取っ払って市場任せにする。徹底的な弱肉強食の社会をつくる、これが新自由主義のいちばんの考え方です。

もう1つは、社会保障をはじめ公的サービスは切り捨てる、自己責任を押し付けるという考え方です。社会保障を充実するためには大企業の負担が増えるか

20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 47(2020.8.31)

ら、大企業の儲けの邪魔になる、ですから社会保障はどんどん切り捨てて、自己責任で「自分のことは自分で守りなさい」というのが新自由主義です。

この結果、どうなったでしょうか。アメリカのレーガン大統領、イギリスのサッチャー首相、日本の中曽根首相が、この立場で医療や社会保障をどんどん切り捨てました。そのイギリスで、ジョンソン首相が新型コロナに感染、重症化し、集中治療室で治療を受けて回復しました。この時、ジョンソン首相は「コロナウイルスは、社会というものが存在していることを証明した」「われわれの国民保健サービスを守ろう」と言い、医師や看護師の名前をあげて感謝の気持ちを述べました。世界中がビックリしたのは、ジョンソン首相の大先輩であるサッチャー元首相が、かつて「社会なんというものは存在しない。自分の面倒は自分で見てくねなければ困る」と医療や社会保障を切り捨ててきた。そのサッチャー元首相の言葉と行動を真っ向から否定したからです。

日本でも同じことが起こっています。かつて、中曽根元首相が「行政改革」といって、医療や社会保障をどんどん切り縮めてきました。国民が日本の医療は高水準と思っていたのに、コロナ感染が広がると、あっという間に病院がひっ迫する、検査も治療も受けられない、医療崩壊寸前までになりました。

みなさん。もう、新自由主義、社会保障や医療を切り縮める、資本の儲けを最優先する、こういうやり方は、世界でも日本でも破たんしたといっているのではないのでしょうか。

口日本共産党の7つの提案

私たち日本共産党は、この痛苦の教訓を踏まえて、コロナの後には、新自由主義から転換して、つぎの7つの方向で、新しい日本をつくることを提案しています。「7つの提案」パネルを持ってきました。

第1に、ケアに手厚い社会をつくる。

第2に、人間らしく働ける労働のルールをつくる。新型コロナで真っ先に仕事を失ったのは非正規のみなさんでした。

第3に、1人ひとりの学びを保障する社会をつくる。

第4に、危機にゆとりをもって対応できる強い経済をつくる。安ければ何でも輸入したらいいんだ、これでは日本国民の命と安全を守ることはできません。

第5に、科学を尊重し、国民に信頼される政治をつくる。突然の全国一律休校とか、「イソジン飲んだら治る」、これらは科学ではありません。

第6に、文化、芸術を大切にす国をつくる。

第7に、ジェンダー平等社会をつくる。

この「7つの提案」いかがでしょうか。是非、この方向で、新自由主義から抜け出して、より良い社会をつくりたいと思います。

口当たり前だが自民党政治にはできない提案

私たちの「7つの提案」の大きな特徴は、共産党が勝手に頭の中で考えたものではなく、国民みんながコロナを通じて感じていることをまとめたら、こうなったのです。例えば、1番目の「ケアに手厚い社会をつくる」。コロナ危機を体験して、私たち人間は一人で生きてゆくことはできません。他者によるケアによって、医師や看護師、介護士、保育士、社会福祉士、さまざまなケア労働を担っている人々のおかげで、人間としての尊厳をもって生きてゆくことができるということが明らかになったのではないのでしょうか。そのケア労働が、新自由主義の下で、大切にされていません。医療従事者のみなさんは長時間労働、過労死寸前で働かされています。介護や障害者福祉の現場で働く人たちは、一般の労働者よりも賃金が安い。だから慢性的な人手不足に悩まされています。みなさん、「ケア労働を粗末に扱う社会でいいのか」—このことが痛切に問われています。その声を集めたのが、私たちの提案です。

そして2つ目の特徴、この「7つの提案」はどれも当たり前のことばかりですが、自民党の政治を変えなければ実現できない「提案」であります。自民党政治を転換して、「7つの提案」実現させてください。そのためにも、日本共産党を勝たせてください。よろしくお願ひします。